

# 10月&11月のイベント案内

¥：料金

月	日	曜日	時～時	内容	場所	主催	¥
10	1	土	13時半～	我が人生を語るシリーズ4 車いすシェフ	憩いの四季 娯楽室	ヘルシーエイジングの会	500
	8	土	10～13	ベルギーの家庭料理～食から文化を知ろう～	中央公民館2階 調理室	サラダボールC.o.	800
	8	土	10時～	ふれあいまつり2011出展者説明会	健康文化センター4階ほほえみホール	ふれあいまつり実行委員会	
	16	日	10時～	元気なまちづくり事業公開プレゼンテーション	健康文化センター4階ほほえみホール	大口町	
	22	土	10～12	戸外あそび&いもほり大会※雨天26日	扶桑町の公園&畑	クレヨンクラブ	親子1000
	23	日	13時半～	仮説実験教室	子どもと文化の森交流広場	子どもと文化の森	1500
	29	土	13時半～	コミュニケーションスキルアップ講座	健康文化センター1階多目的室	まかせてネット	500
30	日	14時～	第19回ほほえみコンサート	健康文化センター4階ふれあい1	スタインウェイ友の会	500	
11	5	土	10～15	ふれあいまつり2011	健康文化センター、中央公民館、憩いの四季及び周辺駐車場	ふれあいまつり実行委員会 大口町	
	6	日					
	12	土	13時半～	チョコレートのお話会	南児童センター	サラダボールC.o.	親子500
	20	日	10～14	ハートフルまつり	ハートフル大口	ハートフル大口	
	20	日	9時半～	大うんどうかい	大口中学校体育館	クレヨンクラブ	親子1000
19	土	⑩10～⑪11～	クリスマスを奏でるプリザード教室	健康文化センター2階まかせてルーム	まかせてネット	3000	

まみーぽけっと ふらっとルーム (10/6・13・20 11/10・17) 木曜10時～14時 大口町南児童センター ¥

まみーぽけっと 布絵本づくり (10/4・11・18・25 11/1・10・15) 10時～11時半 健康文化センター他 2000

クレヨンクラブ (幼児教室) 活動日 (10/5・12・19 11/2・9・30) 水曜10時～11時半 余野学共1階 要 会費

## 活動センター交流事業を開催します ～チャレンジパソコン教室～

時代の流れについていけない、でもついて行きたい！そんな方のためのパソコン教室を開催します。ブログの作り方が分かる！ ネットショッピングのやり方が分かる！ You Tubeが見られる！ などなど...今回はインターネット(無料サイト)の楽しみ方とブログの作り方中心の連続講座となります。

<p>日時:10月13日・20日・27日 11月10日・17日・24日・12月1日・8日 全8回の連続講座 木曜日 10時から11時30分</p> <p>場所:健康文化センター2階まかせてルーム 定員:10名程度 ※ノートパソコンをご持参ください。 初心者程度の内容です。 参加費:各800円</p>	<p>内容: ※ブログの作り方 (ID取得からの連続講座になります) ※パソコンを使う上で知っておくと役に立つ話 (セキュリティ・バックアップ・管理ツール等) ※インターネットの便利な使い方 (You Tube・ショッピング・ゲーム・旅行等検索)</p>
--	---

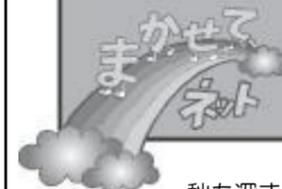
編集後記 おおぐちモードは、2か月に一回発行していますが、編集担当者は毎回バタバタしています。それは、旬な話題を皆さんに届けたいという思いで、ぎりぎりまで編集作業をしているからなんです。...これって、言いわけかな？ 木野



発行: 大口町NPO登録団体 町民活動まかせてネット  
大口町伝右一丁目35番地  
健康文化センター2階 町民活動センター  
ホームページ: <http://home.owari.ne.jp/~makasetenet/>  
TEL/FAX: 22-6642  
E-mail: makasetenet1@yahoo.co.jp

OGUCHI MODE

あなたとまちを元気にするタウン誌



# おおぐちモード

vol.19

秋も深まり、運動会や文化祭シーズンになってまいりました。まかせてネットでも、スキルアップ講座を始め、パソコン講座、ハンドメイド講座などの各種講座をおこないます。文化の秋、スポーツの秋、食欲の秋！みなさんも色々な団体が企画するイベントをお楽しみください。

## コミュニケーションスキルアップ講座 ～人材育成のプロから学ぶ魅力ある話し方・伝え方～



長野ゆき子先生

講師: 長野ゆき子(ながの ゆきこ)先生

有限会社 幸プランニング 代表取締役  
エコステージ評価員 (0463)  
S.E.P (Self Expression Power) 自己表現能力講座校長  
「佐藤綾子パフォーマンス学講座®」名古屋校校長  
日本プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー協会認定講師

仕事・家庭・子育て... あらゆる  
場面で必要となるコミュニケー  
ション能力をアップ!

10月29日(土) 13時30分～16時30分  
健康文化センター1階 多目的室

### ●講座内容●

- ・日頃のコミュニケーション能力のチェック(個人ワーク)
- ・コミュニケーションの基本の講座
- ・グループワーク(1)  
「話す」、「聴く」ポイント
- ・グループワーク(2)  
コミュニケーションを磨く  
「聴く」「質問をする」
- ・グループワーク(3)  
相手を尊重するコミュニケーション
- ・まとめ 明確な目標を持つ

定員 20名  
(定員になり次第受付終了)

参加費 500円

申込・問合せ 22-6642

(月～土 10～12時、13～16時)

主催 町民活動まかせてネット、大口町

## 行政と団体とのテーマ別意見交換会を開催しました

A 健康づくり B 学校支援活動 C 焼却ごみの減量

A

出席者 団体 7名、大口町 4名

大口町も高齢化が進んでおり、それに伴い医療費や介護費は増え、財源である健康保険税や介護保険料のバランスを保つことが難しくなっている。「伸ばそう！健康寿命」を合言葉に、行政・地域住民・団体が協働し、「みんながイキイキ元気なまち」を実現するための、取り組み方を考えた。また、大口町の特徴として40代～50代の「脳血管疾患」が多い状況があるので、若い世代への効果的な理解促進方法も話し合った。

(1)健康づくりの場などに参加されない方への働きかけ  
▽チラシを配るだけではなく、地域の身近な人が顔を見て、二度、三度、声をかけるようにする。  
▽自分たちの楽しみだけでなく、シニア層の生きがいづくりを担っている活動だという自覚を持って、各団体が働きかけ等も行う。

(2)活動の核になる人材づくり

▽会合・研修会などには、代表者と一緒に、次に続く人を同伴するように心がける。  
▽多くの会が後継者の問題に悩んでいる。色々な団体が「健康」をテーマに、合同で勉強・リーダー養成をする機会を設ける。  
▽県で健康づくり活動のリーダー養成研修等をしており、町に案内が来るが、参加者の呼びかけが効果的にできていない。まかせてネット等の広報力を活かして、人材育成の機会を幅広く呼びかけるようにする。



(3)40代・50代の若い世代の巻き込み方

▽学共施設を有効活用する。例えば、いろいろな世代の体操教室や子育て中の母親が集まる場所づくりをして、広い世代が健康のことを意識する機会を広げる。また、お嫁さんから祖父母層への理解の広がりも期待する。  
▽子育て団体等の企画で子どもだけでなく、お母さん・お父さん層の健康プログラムを実施し、それが何かの形で定着するようフォローも行う。

(4)健康推進員の役割の実質化

▽行政区が各家庭を訪問して情報を集めたり提供する活動に、「健康」に関するものも位置付けてもらう。  
▽区の中で健康づくりに取り組む役割を明確化する。健康推進員の役割を理解し、また、それに関わるプログラムを区の活動のスケジュールの中にきちんと位置付ける。  
▽地域によって課題は異なるので、区ごとの情報を具体的に把握し、わかりやすく提供する。

B

出席者 団体 7名、生涯学習のまちづくり委員会 2名、大口町 1名

「地域の学校は地域で支える」という考えの基に始まった制度であり、学校のしてもらいたい支援と保護者・地域がしたい・出来る支援を橋渡ししていくのが目的。活動内容として「地域ふれあい清掃」「図書館サポート」「特別支援学級サポート」等がある。その支援活動を継続させたい、保護者以外にも広げたいと考えている。人材が不足しているのでより効果的なボランティア募集等の活動方法を話し合った。

(1)支援内容のアイデア

▽家庭科室の掃除      ▽調理実習のサポート  
▽スポーツ指導  
▽教員志望の大学生ボランティアを受けている学校もあるので大学へ広報したらどうか。  
▽子どもが小さくても親は中学校に興味があるので、世代間交流のような形で赤ちゃん・幼児・親と一緒に参加できる内容等で中学校と交流できるとよい。  
▽内容によっては、子育て団体等のNPOと連携しながら実施するとよい。

(2)ボランティアの数を増やすには

▽広報などできめ細かく募集の内容を知らせれば、集まると思う。「〇〇できる人」、「〇〇したい人」等  
▽ボランティア広報の募集チラシを作成し、まかせてネットに常時置いておく。また、まかせてネット経由でPR(各種団体)をするとよい。

(3)制度の影響・効果について

▽子どもたちがボランティアさんたちに挨拶をできるようになったなどよい影響があるかなと思う。  
▽教員側の意識はどうか、教育する場からの希望も聞くようにする。アンケートなどを利用するとよい。  
▽ボランティアを受ける側(学生・児童・教師)からの意見も聞くとよい。

(4)団体とのマッチングは？

▽今は個人登録だが、団体登録も可能にしてほしい。  
→ボランティアをしてくださる側の個人の生きがいも支援するという意味もあるが、今後実行委員会で検討する。  
▽地域で顔の見える関係からのコーディネートも可能ではないか。



C

出席者 団体 6名、大口町 2名

大口町では、ごみ焼却施設の老朽化が進み、2018年の新施設完成まで焼却炉への負担を減らしていく必要がある。すでに、大口町は、愛知県でもっともリサイクル率が高い自治体となっているが、さらにごみを減らすために、現行の制度の改善点や新しいアイデア等について意見交換した。

(1)リサイクルセンターとポイント制度の見直し

▽報奨金の制限、景品も多すぎるので見直しが必要な時期ではないか。

(2)生ごみ処理の取り組み方

▽生ごみ処理の方法など町と行政区や団体を中心に啓発を強化したらいいのでは。  
▽新しい自治組織の取り組みとして、3つ程度の自治単位でリサイクルセンターや生ごみ堆肥化施設、リサイクル施設等を管理してはどうか。



(3)20～30年後の課題への対応

▽高齢社会になると、遠くのリサイクルセンターまで車で資源を運べない。地区ごとにリサイクルの場を作って、地区で管理するようにしてはどうか。  
▽さつきヶ丘のエコキューブのような無人の資源回収拠点を増やしてはどうか。  
▽大型スーパーで資源回収してはどうか。(エコキューブを置いてもらっては？)  
▽スーパー等での資源回収量を把握すべき。

※このテーマで前年度から新焼却炉の完成が2030年になっておりましたが、正しくは2018年でした。訂正し、お詫び申し上げます。

A

地域やNPOでリーダー的役割を担い意識の高い人たちが多かった為、課題の共有ができた。人材育成や若い世代の取り込み方、出てこない人への働きかけ等、地域、NPO、行政の特性を活かして取り組むことへの糸口が見つかった。またこのような会を持るとよい。

B

○ 行政からの感想 ○

生涯学習のまちづくり委員会からも大変意義があったとの感想をもらっている。特にPRへのアドバイスについては早速ポスター・チラシを作成し、まかせて広場で広報を始めることができた。行政としてもNPOとのつながりができ大変よかったと思う。

C

課題を共有し、どう解決していくかを話し合う有意義な場だった。それを聞くだけではなくどこまで具体的にしていけるかが問題となるが、団体と行政がともに働くことでひとつもよくなっていくと思う。

**まとめ** 昨年に引き続き2度目の行政と団体との意見交換会でした。3つのテーマに分かれて活発な意見交換や笑い声が響いていました。最後に全体でそれぞれ話し合った結果を共有し、あっという間に3時間半がすぎてしまいました。行政と団体が同じ課題を話し合える関係づくりができたのではないかと思います。まかせてネットとしては、開催後、テーマごとにまとめをし、参加された方にお話をうかがい反省を生かし、より有意義な会にできるよう来年度へつなげていきます。

## アドバイザー相談会を開催しました 「団体活動の悩みをスッキリ解決！企画書・見積書作成講座」

9月6日(火)10時から健康文化センター1階多目的室において、講師にNPO法人ボランタリーネイバーズ相談事業部長 中尾さゆり氏を講師にお迎えし、アドバイザー相談会を開催。行政と団体から24名が参加しました。

協働委託費の見積りや助成金、補助金獲得のためなど、今の時期だから知っておきたい企画書、見積書の作成方法について学びました。企画をどのように文章や数字にしたらいいか？助成金の効果的な申請の仕方、さらにはどこに提出したらよいのか？など、事例を交えてお話いただきました。

今後もこのような講座の開催を時期に合わせて予定しています。(例：年度末には決算報告書の作成対策等)また、まかせてネットでも各種申請書、予算書などの書類作成補助のご相談にも対応していけるようスキルを磨いています。お気軽にご相談ください。

**感想**

・実践で役に立つ内容で、とてもよかった。特に現状分析のワークができたことが良かった。  
・今まで自己流で作成していたので、今回の話しは具体的な事例を出していただきとても理解しやすかった。すぐにも活用します。

